

請願第 1 号

令和 6 年 8 月 22 日

尾張旭市議会

議長 松原 たかし 殿

紹介議員 片渕 卓三

請願者

住所 尾張旭市

氏名

LiD/APD（聞き取り困難症/聴覚情報処理障害）への公的支援及び理解啓発に関する請願

1. 請願の趣旨

LiD/APD（聞き取り困難症/聴覚情報処理障害 以下 LiD）は、聴力は正常であるにもかかわらず騒音下等において聞き取りの困難が生じるものであり、学齢期においては通常学級に在籍する児童の約 3% に症状がみられるという先行研究があります。この LiD は、自閉スペクトラム症など発達障害の特性や言語発達の問題などが背景要因となって生じていると考えられています。実際、発達障害の診断を受けている子どものケースが多く、また、LiD をきっかけに発達障害に気付かれるケースもあります。LiD の子どもたちは、日常的に授業中の先生の話や友達の発言が聞き取れないなどといった困り感を有し、学力不振を招いたり不登校につながったりすることがあります。

この LiD に対する支援・合理的配慮の一つに、ワイヤレス補聴援助システム（旧 FM 補聴援助システム）によるものがあります。話し手が持っているワイヤレスマイクの信号を、聞き手である子どもが装着している受信機に送り、話し手の音声を騒音に邪魔されることなく直接聞くことができるというものです。これを用いることによる教育的・発達の効果については諸外国では広く知られており、国内においても報告されております。

以上のようなことから、LiD の子どもたちに対してワイヤレス補聴援助システムを導入するための助成と、適切に機器が使用されますよう教育関係者の皆様には研修等を通じて LiD に対する理解促進を図っていただけますようお願いいたします。

2. 請願の内容

- ・ LiD に対するワイヤレス補聴援助システムの購入に対する助成の制度化をお願いします。
- ・ LiD に対するワイヤレス補聴援助システムの試聴時における貸出の制度化をお願いします
- ・ LiD など聞き取りに困難を抱える発達障害のある子どもに対する理解を深め、適切な支援が行われるよう、教職員をはじめとする関係者の皆様の研修機会を増やしていただけるようお願いいたします。

以上 よろしくをお願いいたします。

